

完全ローカルAI営業アシスタント

AidethMail_v5

※資料にはv6,v7の説明は含まれておりません。

社内マニュアルとルールを完全網羅した、
御社専用の「自律型AI」

情報漏洩ゼロ × 業務90%削減 × ノウハウの永久保存

IDETHJAPAN

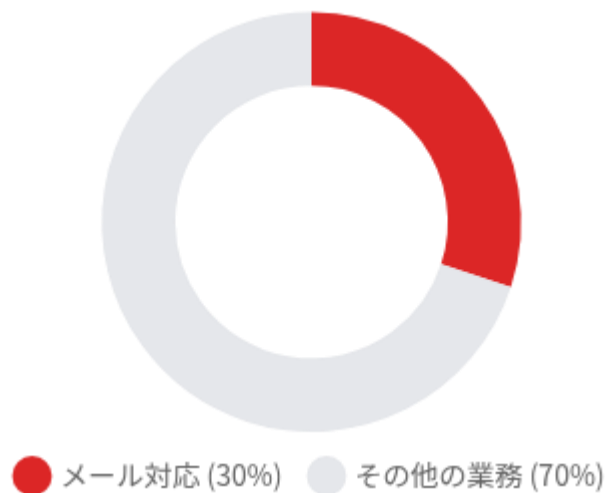
IDEa × Technology × Honestly



Secure. Efficient. Asset-building.
Next Generation AI for Sales.

課題: 営業時間の30%がメール業務に消えている現実

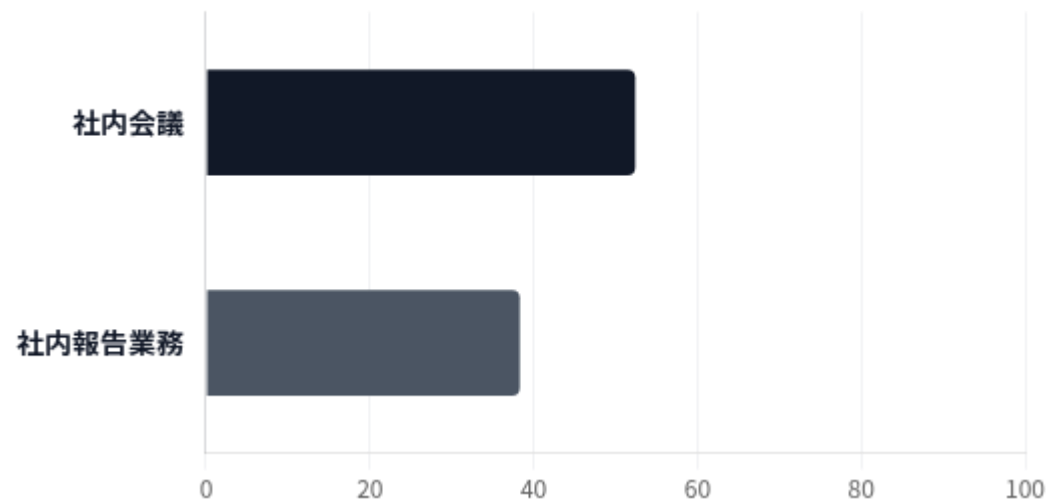
業務時間における割合



1日 平均2時間26分

1日の平均メール送信12.33通、受信52.27通。
業務時間の約3割がメール対応に奪われています。

営業担当者が「無駄だ」と感じる業務



「無駄」と感じる業務トップ2

営業担当者の過半数が「社内会議」、約4割が「社内報告」を無駄だと回答。内向きの事務作業が大きな負荷に。



本来の「商談活動」に充てるべき時間を、メールと内向き事務が圧迫。

人員余力の少ない中小企業において、これらの業務効率化は即座にROI（投資対効果）の向上へ直結します。

リスク: なぜクラウドAIの業務利用は『情報漏洩』を招きうるのか

クラウドAI利用時のデータフローと危険性



入力データがAIの学習に利用され、意図せず他社の回答として出力されるなど、外部サーバーを経由する構造自体が根本的なセキュリティリスクとなります。

過去の不具合・漏洩事例



2023年3月の事象で一部利用者（約1.2%）に情報表示不具合が発生したと報告されています。また、海外企業での機密情報漏洩事例も発生しています。

監査および契約上の違反リスク



入力データが外部サーバーで処理・保管される性質上、顧客情報や社内規程の不用意な送信は、重大な監査違反やNDA違反を引き起こします。

「シャドーIT化」による制御不能リスク



「無料だから」「便利だから」と現場が会社が無断でクラウドAIを利用するシャドーITが進行し、企業が管理しきれない情報流出の温床となっています。



営業情報（顧客・提案・価格）は企業の生命線です

AIの利便性を享受しつつ機密を守るには、自社環境からデータが一切外に出ない「完全ローカル実行」が唯一かつ最短の解決策です。

解決策: AidethMailは「道具」ではなく、御社専用の『自律型セールス脳』



営業時間の30%を奪うメール業務を、**情報漏洩ゼロで90%削減。**

使うほど賢くなる、御社専用の営業AIアシスタント



完全ローカル実行

クラウドへの外部送信は一切なし。企業の生命線である営業機密情報を、最も強固な自社環境で守り抜きます。



業務効率90%削減

長時間を奪うメール作成や内向きの事務作業をAIが瞬時に代行。本来の顧客との商談活動に時間を集中させます。



使うほど賢くなる資産性

現場の営業ルールやベテランのノウハウを継続的に蓄積。退職による知能の流出を防ぎ、企業の永久資産へと昇華させます。

従量課金一切なし。使えば使うほど1件あたりの単価が下がる固定料金制を採用しています。

V5進化① 自律型RAG: AIが勝手にマニュアルを読み、完璧な提案を書く

RAG（検索拡張生成）＝「自律型マニュアル参照機能」

F Feature (特徴)



メール生成時、裏側で社内Wikiや過去の成功事例を**自動検索・参照**します。

A Advantage (利点) - 他と比べて何が優れているか



人間がマニュアルを探す手間がゼロ。
常に「自社の正解」に基づいた回答。

B Benefit (利益) - 顧客の現場に起きる幸福な変化



新人でも導入初日から
「10年目のベテラン」の回答精度を出せる。

V5進化② ノーコードAI教育: 御社独自の営業ルールをインストール

ノーコードAI教育 = 「性格/禁止語/社内基準の即時反映」

F Feature (特徴)



非エンジニアが画面上から「性格」「禁止語句」「自社ルール」を**簡単設定**します。

A Advantage (利点) - 他と比べて何が優れているか



エンジニア不要。
現場の細かいこだわりを数秒でAIに反映。

B Benefit (利益) - 顧客の現場に起きる幸福な変化



ブランド毀損リスクをゼロにし、
御社らしい「おもてなし」を自動化。

V5進化③ 真の社内ナレッジ資産化: 使えば使うほど「最強の営業辞書」が育つ

資産化 = 「絶対に辞めないトップセールスの脳の永久保存」

FFeature (特徴)



過去の知見を直接書き込み、**タグ付け保存**できる専用データベース(Wiki機能)。

AAdvantage (利点) - 他と比べて何が優れているか



AIとの対話だけでなく、
人間の暗黙知を構造化して蓄積。

BBenefit (利益) - 顧客の現場に起きる幸福な変化



エース社員の退職による「**知能の流出**」を防ぎ、
会社の**永久資産**にする。

UX: Sidekick(常駐型)による摩擦ゼロの操作感

画面遷移やコピペは不要。思考の流れを止めず、自然に「自社の正解」を引き出します。



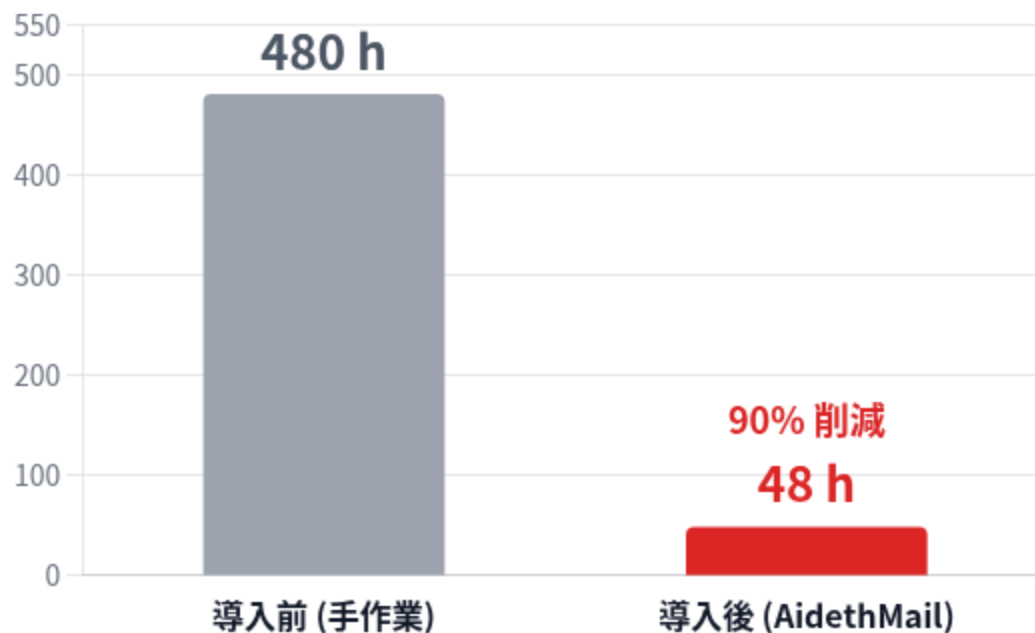
特別な学習不要・業務フローに溶け込む設計

Sidekickが常にそばに控え、いつものメール対応の延長線上で圧倒的な時間削減と品質向上を実現します。

可視化: 「削減時間」と「創出機会」を証明するダッシュボード

【営業担当者10名の場合】 毎月のレポートで自動算出され、経営層へのROI報告に即転用可能です。

月間メール業務時間 (10名合計)



年間削減時間

5,184 時間



創出された商談機会 (年間)

108 営業日分

※約864時間に相当



ROI試算 (コスト削減効果)

約2,500 万円 / 年

※出典・参考：生成AIによる業務効率化調査（コスト削減モデル）、日本ビジネスメール協会「ビジネスメール実態調査2025」を基に算出

他社比較: クラウドAIとの「安全性」と「カスタマイズ性」の決定的な違い

比較軸	一般的なクラウドAI	AidethMail v5
データ保管場所	クラウド外部サーバー	◎ 完全社内ローカル
情報漏洩リスク	学習データ流用の可能性 △	◎ ゼロ (完全遮断)
カスタマイズ性	汎用モデル (自社専用化は困難)	◎ 自社専用ルール即時反映
コスト構造	従量課金 (変動・予測難)	◎ 固定料金 (使うほど単価低下)
ナレッジ蓄積	蓄積不可 (毎回ゼロから指示) ✕	◎ 社内資産化 (最強の辞書に)

「安全」 × 「効率」 × 「資産化」 を同時に満たす唯一の選択肢、それがAidethMail v5です。